

※評価点：A 特に優れている B 優れている C 普通 D 優れていない E 要改善

1. 教育理念・目標 A

「人間教育と技術教育」を軸とした理念は明確であり、長い歴史と卒業生ネットワークの強さが理念の有効性を裏付けている。教育目標や育成人材、職業教育に周知徹底されている。伝統を理念として浸透させることで、学校の特色＝強みにする風土が備わっている。人間力にこだわっている点が評価できる。どんな困難な時でも、知恵を出し、人を助け、人から必要とされる人材の育成＝このような人材がいればすぐにでも採用したいです。基本ができて、それを応用できる人材がいれば素晴らしいです。教育理念である人間教育と技術教育が各学科毎に目標・人物像として細かく明確に落とし込まれている。ニーズに合うよう努力している。「DX化」を念頭に置いたカリキュラムの見直しなど、時代のニーズに合わせて柔軟に対応されており、素晴らしいと思います。

アカデミック教育の比重が高く、実務能力育成の要素がやや弱い。また学校の強み・特色の対外発信が十分とはいえ、業界浸透を強化する必要がある。在学中に修得する能力を身につけられるよう授業改善、新規科目導入に反映できれば。時代変化に応じた今の若者の特性を伸ばすことをもっと考えたい。昔と比べ物足りない点もあるが、昔と違って頼もしい面もあると感じている。1 人柄⇒元気で気持ちの良い挨拶、2 整理整頓（掃除・事前準備）、3 積極性（学ぶ、挑戦する）、4 愛情（協力心、利他の心）プラスして欲しいことは持続、素直な心、創意工夫、感謝、です。本来家庭で培われるものである人間教育を学校で実践してくれるのはありがたいことです。

2. 学校運営 A

基本的な運営は良好であり、規程・事業計画に沿って適切に実施されている。事業計画、職員会議議事録、年間行事予定表、運営組織、教員評価などに基づき整備され、適切に運営されている。知名度を上げようとする、コンテスト参加、賞獲得、検定合格率維持は素晴らしいと思います。エビデンスも整っている。熱心に学生を指導されており、ご多忙の中、適正に運営されていると感じました。教職員の評価・育成項目に於いて改善されているのは、着実な取り組みの成果だと思います。子供の立場からしか見ていないが、先生たちの顔や名前は把握できているし、取り組みも理解できた。コンテスト等での活躍で知名度や教育の質向上はできている点を評価。

教員の業務負担が過多。実務経験を持つ人材の登用を進め、多様性のある組織づくりを行うことで学校の発展につながる。教育の質を人材育成のために教職員の確保をして欲しい。学生に寄り添った教育は御校の特徴・強みだと思うが、一方でそのことが運営上の負荷ともなっている。効率化での対処はもちろん重要だが、寄り添いすぎない（学生の能動を引き出す・評価型の）指導も大事になってきているように思う。指導員教育を外部からももっと積極的に学ぶ仕組みづくり。多面的に教える方のレベルが上がらないと、学生のレベルも上がらない。外部講師などをもっとたくさん招き入れた方が刺激が大きいと思います。専門性の高い学校なだけに、人材の確保が難しいとお察ししますが、人員が増えると業務の負担も軽減されるのではないかと感じました。教職員の健康が一番。健康診断は不可欠。教員不足の問題は誰でもできるわけではないので、補充も厳しいのでは。教職員評価に関しては、専門学校独自の表彰制度を設けてはどうか？

3. 教育活動 A

検定や全国レベルのコンテストにおける成果は高く、教育の質は概ね良好である。教育目的、人材育成像など、社会にも定期的に公表されている。学科毎に明確な育成像があり、時代変化に合わせてカリキュラムを見直すことにより、質の高い教育が実践されている。技術面教育は良くできていると思います。学科毎の教育目標、

人材育成像を持ち、しっかりとプランニングされており、それぞれの学科の特性もある。授業改善アンケートの実施など、学生の声も反映しながらご指導されていたり、産学連携等の取組も良いと思います。詳細な授業計画やカリキュラムの作成だけでなく、随時見直しや検証が行われている。

先生たちの熱意や体験が生かされていると思う。ただ近年の物価高も影響して、せっかく企画して下さっても実現が難しいこともある。現状維持してもらいたい。適切に行われている点を評価。質保証の定義づけも難しいので、そこは要検討の余地あり。

業界との接点が十分とはいえ、即戦力育成の観点でカリキュラム改善の余地がある。産学連携や実務体験の強化が望まれる。広報情報を収集して、授業改善のアンケートなどを活用して欲しい。教育の質を担保することの難しさがあるようだ。諸刃の剣的な部分もあるかもしれないが、出来得る手段として学生からの評価をもっと活用してもいいかもしれない。一般企業で今必要なのは、最低限の専門基礎知識、技術、それより大切なのは人としての資質。何のために仕事して、何のために生きるのか？その教育を徹底して欲しい。就職するとある程度の数字管理が必要になる。どの学科も原価、粗利益、売上、仕入など、いくらで作れて、いくらで卸される、いくらで売れる等、より具体的な数値を学んでおく事でビジネススキルに繋がると思う。学生のそれぞれの個性に対峙しながら結果を出さなければならないので、先生方の体調管理も忘れないよう。

4. 教育成果 **A**

検定合格率・就職実績など成果は良好に表れている。進級作品展、卒業記念展など全ての教員で指導されている。各種コンテストでの受賞成果もあがっており、学修成果に関しては高い水準で出ている。目指す人物像になかなか近づかないのは、現状仕方のないことです。目標持てる方にはより高い設定を、目標が持てない方には今の目の前の課題を徹底的にやることの大切さ、その先に見つかる可能性が大きい。学科毎の教育目標、育成人物像に沿っており、学生への柔軟な対応も行っている。また作品、コンクールなども多く受賞し、大きな成果に繋がっている。検定合格率も特に素晴らしい。

コンテストの結果に表れているように、十分な成果を挙げていらっしゃると思います。学生や卒業生の活躍には目をみはるものがあると思う。このことをどんどん広報して発信してもらいたい。検定合格率、コンテスト入賞など、問題なく学生は学修成果を得られている点を評価。

卒業後の追跡調査が十分ではなく、業界での活躍度合いが把握しきれていない。

学校の社会的評価を明確にするためにも継続的フォロー体制が必要。何を成果とするか・どこを評価するか、学校に関しても学生に対しても見直しをしていくターニングポイントのような気がします。教育する立場の方が、学生の立場もわかりながら、もうワンランク上の会話を心掛ける。仲良くするのと指導するのは別。勘違いさせないこと。各種検定・賞に行きつかない学生のフォローや再挑戦への「やる気」などメンタル面のケアをお願いします。

5. 学生支援 **A**

在学中の支援は概ね良好。就職先の減少などによる困難さの中、一人一人に向き合って対応している。コミュニケーションを大事にする香蘭さんらしく、学生1人1人と誠実に向き合っている姿勢は本当に素晴らしいと感じています。先生方も真面目なので、知識を教える点では非常に色々されているのではと思う。学校全体で学生ファーストとして取り組んでいると感じる。十分な制度、支援も整っている。問題はないが、就職に関してはどうしても企業の要望に沿うか、ということに依存しているので、協定を結ぶ等の正規ルートでない道も模索する必要があるのではと考える。

卒業生支援が弱く、再就職・第二新卒支援に向けてデータベース整備が望まれる。卒業生の動向把握やリスクリング支援を強化すれば社会的評価の向上につながる。精神的サポートが多くされればいい。コミュニケーションを重視するとどうしても時間がかかる（先生方の負担が増える）と思います。立派な卒業生の方々も多数いらっしゃるの、そちらとの連携がもっとも現実的だと思います。指導者が就職先企業の特徴をよく知るための仕組みは？学生の特性と企業の性質を理解する。やりたいことと、向いている（貢献できる）ことは違うケースが多い。全ての卒業生を追うのは困難だが、大手で頑張っている、地元で頑張っている、起業している等、活躍している卒業生を把握できると良い。卒業生からのアドバイス、今後の将来像が具体的になり、学校としてのブランディングに繋がると思う。卒業生のコミュニティなども増えると今後のビジネスチャンスに活かせる。在校生への支援は当然ですが、卒業後もいつでも相談に、という支援体制の構築は安心感につながると思います。

6. 教育環境 **A**

整理・整頓・清掃・挨拶など教育理念に基づいた運営が行き届いており、環境整備は良好。施設・設備・防災、安全管理について適切になされている。ファッションの専門学校ですが、香蘭短大と同じような学校の作りになっている感じがする。先生方の学内での真面目さは感じます。施設設備も十分に整えられており、教育体制もしっかりと整備されている。また常に修繕と改善は意識されている。全ての項目に於いて管理・報告がなされていて、安心できます。色々なものを使用することが多く、技術を修得する場所なので散らかると思いますが、よく整理、掃除されていていつも気持ちがいいです。設備の見直しも検討しなければならない（法人側の問題）

安全な環境で学べるように更に学生に伝わる方法を徹底する。資金の関係もあるでしょうが、刺激のある校舎とは言えないような感じもします。想像力を養う校舎、教室はどうですか？教える立場の方の人数増やすか？収入増やしてステイタスも上げる必要があると思います。その為には収入が必要ですが。

7. 学生の受入れ募集 **A**

学校説明会やHPなどにより適切に行われている。コンテストなどで賞を獲得されて、認知度はかなり上がっているとは思いますが。その他の福岡の短大、専門学校に比べれば努力の差が感じられます。業界の人气が低迷している中、ある程度の規模を維持し続けていることは非常に評価できる。広報担当も付けてPR活動から説明会なども学生へのアプローチもある。学納金の改善も必要だと思う。令和8年度から新しい入学前支援をされるということで、適切に行われていると思います。入学予定者にレポートを提出させる、ということだが、提出後はどのように取り扱われるのか？以前高校でも推薦入試の合格者に課題を提出させたが、集めて終わったため。説明会や面談など丁寧な対応をされているが、もっと学校のいいところをPRした方がいい。

少子化やファッション分野志望者の減少が続く中、本学の強みを積極的に発信し、募集強化を図る必要がある。少子化により現代の学生のニーズに合う広報活動が必要。大企業が企業価値をアピールするCMで人材確保を狙っているように、学校の価値をいかに外部に訴求するか学生確保に関して最も有効だろう。この点も卒業生との連携がもっとも実現性が高いように思う。洋服に興味を持っていない方（目的が定まっていない方）へのアプローチ方法はまだ足りないと思います。学生の受け入れ数が学校運営にも関わってくる大事な要素になる。更にブランディング、プロモーション等、強化し、入学目標数を増やす必要がある。少子化の影響で大変だと思う。入学予定者への入学前学修実施は驚きです。受賞者の学生たちが説明会での体験談や喜びをお話する場所があったらいいと思うし、もっとアピールすべき！！

8. 内部質保証 A

関係法令にのっとり、個人情報・学校評価については適切に行われている。外部関連の会議をよくしていて、学ぶ姿勢、良くしていこうという姿勢を感じます。関係法令・各種基準に沿い、適切に学校運営されている。自己点検、評価、学校関係者評価の部分では、改善計画にて事業計画の見直しも必要だと思う。

最も負担の大きい領域であり、計画的な改善が必要。事業計画・規程類のブラッシュアップを継続し、質保証体制の段階的整備を進めるべき。改革・改善について努力が必要。世の中の変化に対して、教育も進化、成長していかないといけないと思います。今からの世の中、通用するか？通用しないか？という基準。個人情報保護—安全とは言えない昨今です。何事も起こらないことを祈ります。

9. 財務 A

予算説明書に基づき、財務情報の公開など適正に行われている。財務状況は安定していると聞いている。

PCソフトによるシステムの導入は職員の方々の負担も軽減し、良いと思います。委員会の報告だけではよく分からなかった。そしてこちらもどこまでを知るべきか分からない。

特段の指摘事項はないが、学生募集数の変動に左右されやすい点には留意し、安定化策の検討が望ましい。財務が安定していることはとても良いことです。経費はかかっても長い目で見て、労力の軽減に結び付けばよいのかな、と思います。経費潤沢の為には、入学生増が必須ですね。

10. 社会貢献 B

専門性の高い教育機関として地域に貢献する潜在力が高い。施設の貸し出し、ボランティアなど学生との活動がなされている。少し足りない感じがします。できることを努力して行われていると思います。高等学校教員対象の講習会の実施など、継続して頂きたいです。十分だと思います。社会・地域とのつながりを持つことはたやすいようで難しい。けれど伝統のある学校だからこそ必要と感じた。地域向けの講座のニーズを調査し、ボランティアや公開講座が学校の入学者数増加やその他の効果が見込めるのであれば、積極的に行うべき

リスキリング教育、子ども向けファッション教育等、本学の強みを生かした地域連携プログラムの構築が必要。社会課題解決に寄与する活動を積極的に推進すべき。一般の人のためにも校内でのソーイング、手芸的なものがあれば。利他の心や感謝の気持ちをもつための学校外の清掃などのボランティア活動。学業優先なので、非常に難しいと思うが、ファッションを通して、福岡の活性化、福岡での取り組みなど、社会、地域貢献などを考えてみるのもありだと思う。地域へのボランティアの内容には限りがあると思います。現在の学校周辺の清掃を実行されているのは良い事だと思います。御校なりにできることをしていけばよいのでは、と思います。限られた時間で難しいかもしれないが、文化祭などの行事も地域の人が来訪しやすいように広報し、売れるものを作った方がいいかと思う。

11. 国際貢献 B

現状では十分な取り組みが難しい領域。留学生受け入れにはまだ取り組みの体制が整備されていないように思える。消極的なようだ。受け入れ態勢が出来ている方ではないでしょうか？適切に行われていると思います。

国際的な視野を持った人材育成の為に、留学生受け入れ態勢への整備。安心して学べる体制づくりの取組。技術的な専門性を教えることの難しさもあると思う。留学生の受け入れに関しては、各学科で受け入れ可能な人数を精査し、計画通りに進めていく必要がある。

留学生受け入れ体制などは学校側の負担が大きいですが、学生減少時代には検討に値する分野。今後の体制整備を段階的に検討する必要がある。留学生が安心して学べる体制ができれば。留学生・外国籍方々の学生の受け入れは強化した方がいいと思う。その為には出口（卒業後の就職先等）の確保とその訴求が必要ではないだろうか？海外の少し富裕層の学ぶモチベーションは今の日本人より高い方が多いと聞きます。全体のレベルを上げるためにも留学生を増やすべきだと考えます。業界の活性化、人手不足の解消など、業界の課題解決のひとつとして、留学生の受け入れは必要。ただし、国際交流、コミュニケーションとして教員への負担は課題だと思う。コロナも落ち着き、海外との交流事業等何か実施できるとよいと思います。文化の違う国の学生さんと一緒に学べることはとても良い経験でしょう。早期実現が待たれますね。

以上